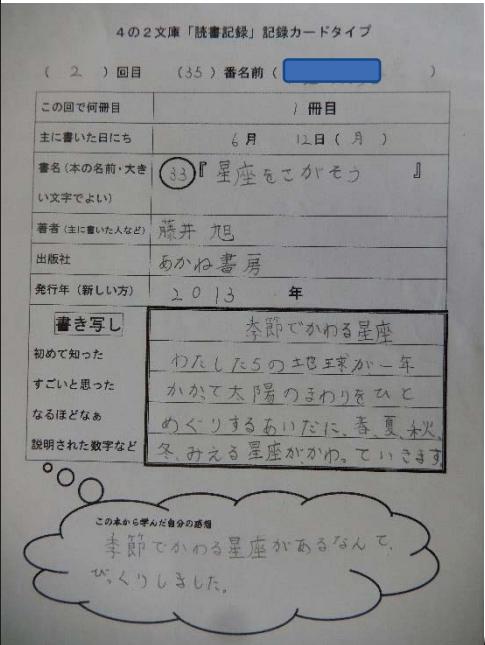


図書活用（図書館活用）実践

西生田小学校 佐瀬洋子

教科「単元名」(時間)	理科「夏の夜空」(3/3)
ざっくりした単元（授業）の流れ 子どもの様子、ワークシート *工夫	1. 星に関する本を読み、初めて知ったことなどを記録する  2. 星について初めて知ったことなどを全体で共有する。 
教科 理科 単元名「夏の夜空」 第1次 星の明るさや色は、星によって違うのだろうか。 1、2、ゆとり (2時間十ゆとり1時間) ゆとりの時間に星に関する本を拾い読みした。 別日にプラネタリウム見学もしている。	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の中で、星や宇宙に関する本をあえて借りようとする児童は少ない。学級文庫用に借りることで、クラスみんなが手にとりやすくなり、星や宇宙の本に興味をもてるようになる。本は必ずしも精読する必要はない。プリントは、本の中から「初めて知ったこと」「なるほどなあと思ったこと」などを引用する部分と、引用した文からの感想を書く部分とに分かれている。
選書の工夫、どんな本を使ったか	<ul style="list-style-type: none"> 星や宇宙、月の関する本を学校図書館や公共図書館から集めた。 4の2文庫として、担任のバーコードで借り、クラスに一ヶ月おいていつでも見られるようにした。(借り方返し方をマニュアル化し、全員に配った) 本に養生テープを張ってその上にマジックで番号を記し、続きを読むやすいようにした。読みかけの本には、名前を書いた付箋を貼って予約本扱いにした。
本を活用することで、情報活用能力のどの力をねらったか	実践力の「集める力」(情報収集する力)
やってみての感想・その他	<ul style="list-style-type: none"> 40冊の本を使って、最初に味見読書(1冊40秒ずつ見る)をした。 「冬の夜空」の单元や教科書外の知識に触れることになるが、予習と思って、興味関心を高めることをねらった。